

福島大学保健管理センター紀要

第 33 号

(平成29年度)



福島大学保健管理センター

目 次

はじめに.....	保健管理センター所長 小室安宏.....	1
業 務 報 告 (平成29年度)		
保健管理センター実施事業.....		2
学生定期健康診断実施結果.....		3
(胸部レントゲン検査・尿検査・身長体重・内科診察、BMI測定)		
体育系学生特別健康診断検査結果.....		9
月別利用状況一覧表.....		11
病院等医療機関紹介状況、紹介状返答状況.....		13
救急箱利用状況、月別健康診断証明書発行状況.....		14
平成29年度ストレスチェック結果報告.....		15
業績・活動報告		
平成30年<2018年>業績.....		17
平成30年度 自殺予防対策活動報告.....		18
平成30年度 保健管理センター主催特別講演会.....		18
保健管理体制		
保健管理センター運営委員会委員名簿.....		19
福島大学保健管理センター機構図.....		20
保健管理センター職員名簿、非常勤学校医名簿、センターに関する事務職員名簿.....		20
福島大学保健管理センター規則.....		21
福島大学保健管理センター運営委員会規程.....		24
福島大学保健管理センターの所長及び教員の選考に関する規則.....		27
沿 革.....		29
あ と が き.....		31

は し め に

福島大学保健管理センター所長 小室 安 宏

保健管理センター紀要第33号をお届けします。

我々医療関係者にとって、2018年<平成30年>のトップニュースはなんといっても京都大学特別教授の本庶佑先生のノーベル医学・生理学賞受賞でしょう。日本人のノーベル医学・生理学賞は1987年の利根川進先生に始まり、2012年の山中伸弥先生、2015年の大村智先生、2016年の大隅良典先生に続き5人目の快挙です。PD1/PD-L1分子の研究に取り組み、オプジーボ（ニボルマブ）の開発につなげたという苦難の歴史はもとより、受賞後の本庶先生が、基礎研究に対する支援金がもっと必要だとして「多くの若い人にチャンスを与えてほしい」などと、科学への投資を繰り返し訴えているところに感動を覚えるとともに、日本が科学技術立国としての存亡の機にあると実感されました。

もうひとつ話題になったこととして、東京医科大学に始まった不正入試問題があります。一官僚と大学理事長との贈収賄事件として端を発し、長年にわたって女性や多浪の受験生を不利に扱っていたことが発覚しました。医学部を置く81大学に対して文科省が調査を行う事態に発展し、計10大学で女性・多浪差別などの「不適切」な事例があったことが明るみに出ました。こういった事例で被害をうけるのは何の非もない受験生です。今後これらの問題は整理され、きちんとルール化されていくことを望みます。

なお個人的なニュースとしては、10月の全国大学保健管理研究集会で、医局の先輩である宇宙飛行士の古川先生に久しぶりにお会いできたことがあります。現在は宇宙飛行士の訓練とともに、宇宙医学の研究に邁進されておられます。講演では映像を交えて、最新の研究内容を分かりやすく説明していただきました。

2019年4月30日に平成も終わりの年も迎えます。新しい年号も平成31年4月には発表されると聞いております。福島大学保健管理センターは、福島大学の心身の健康を担う一機関として、これからもしっかりと活動してまいりたいと思っています。これまでと変わらず保健管理センターの事業にご協力をお願い申し上げます。

(平成30年12月)

(お詫び：昨年度発行の保健管理センター紀要第32号1ページにおいて、2020年5月1日に新しい年号とありましたが、2019年5月1日の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。)

業 務 報 告

平成29年度学生定期健康診断実施結果

胸部レントゲン撮影

学 類	学年	対象数	受診数	受診率	再 検 数 再 対 象 数	再 検 数 再 受 診 数	再 受 診 率 再 受 診 率
人間発達文化学類	1	282	277	98.2	3	3	100.0
	2	29	29	100.0	2	2	100.0
	3	227	227	100.0	1	1	100.0
	4	354	288	81.4	4	4	100.0
	合 計	892	821	92.0	10	10	100.0
行政政策学類	1	217	205	94.5	2	2	100.0
	2	15	15	100.0	0	0	
	3	21	21	100.0	0	0	
	4	254	162	63.8	1	1	100.0
	合 計	507	403	79.5	3	3	100.0
経済経営学類	1	238	229	96.2	5	5	100.0
	2	4	4	100.0	1	1	100.0
	3	18	18	100.0	0	0	
	4	271	173	63.8	0	0	
	合 計	531	424	79.8	6	6	100.0
現代教養コース	1	64	43	67.2	0	0	
	2	2	2	100.0	0	0	
	3	7	7	100.0	0	0	
	4	87	39	44.8	1	1	100.0
	合 計	160	91	56.9	1	1	100.0
共生システム理工学類	1	192	182	94.8	1	1	100.0
	2	6	6	100.0	0	0	
	3	40	40	100.0	0	0	
	4	238	155	65.1	0	0	
	合 計	476	383	80.4	1	1	100.0
学 類 総 合 計		2,566	2,122	82.7(83.8)	21	21	100.0(100.0)
人間発達文化研究科	1	51	36	70.6	2	2	100.0
	2	43	29	67.4	0	0	
	合 計	94	65	69.1	2	2	100.0
地域政策科学研究科	1	10	4	40.0	1	1	100.0
	2	14	2	14.3	0	0	
	合 計	24	6	25.0	1	1	100.0
経済学研究科	1	14	2	14.3	0	0	
	2	28	3	10.7	0	0	
	合 計	42	5	11.9	0	0	
共生システム 理工学研究科(博前)	1	49	29	59.2	0	0	
	2	39	24	61.5	0	0	
	合 計	88	53	60.2	0	0	
共生システム 理工学研究科(博後)	1	3	0	0.0	0	0	
	2	5	1	20.0	0	0	
	3	11	2	18.2	0	0	
	合 計	19	3	15.8	0	0	
大 学 院 合 計		267	132	51.3(53.1)	3	3	100.0(0)

() 内は平成28年度の受診率

尿 検 査

学 類	学年	対象数	受診数	受診率	再 検 査 対 象 数	再 検 査 受 診 数	再 検 査 受 診 率
人間発達文化学類	1	282	257	91.1	16	9	56.3
	2	288	146	50.7	9	5	55.6
	3	304	255	83.9	8	7	87.5
	4	354	252	71.2	1	1	100.0
	合 計	1,228	910	74.1	34	22	64.7
行政政策学類	1	217	192	88.5	16	9	56.3
	2	218	94	43.1	7	4	57.1
	3	236	80	33.9	3	2	66.7
	4	254	133	52.4	6	4	66.7
	合 計	925	499	53.9	32	19	59.4
経済経営学類	1	238	204	85.7	13	5	38.5
	2	228	81	35.5	1	1	100.0
	3	237	82	34.6	4	3	75.0
	4	271	157	57.9	4	3	75.0
	合 計	974	524	53.8	22	12	54.5
現代教養コース	1	64	41	64.1	4	1	25.0
	2	64	17	26.6	1	0	0.0
	3	60	25	41.7	0	0	
	4	87	28	32.2	1	1	100.0
	合 計	275	111	40.4	6	2	33.3
共生システム理工学類	1	192	167	87.0	7	4	57.1
	2	193	62	32.1	4	4	100.0
	3	194	88	45.4	5	2	40.0
	4	238	124	52.1	4	4	100.0
	合 計	817	441	54.0	20	14	70.0
学 類 総 合 計		4,219	2,485	58.9(59.2)	114	69	60.5(49.3)
人間発達文化研究科	1	51	32	62.7	0	0	
	2	43	29	67.4	1	1	100.0
	合 計	94	61	64.9	1	1	100.0
地域政策科学研究科	1	10	4	40.0	0	0	
	2	14	1	7.1	0	0	
	合 計	24	5	20.8	0	0	
経済学研究科	1	14	2	14.3	0	0	
	2	28	3	10.7	0	0	
	合 計	42	5	11.9	0	0	
共生システム 理工学研究科 (博前)	1	49	26	53.1	3	1	33.3
	2	39	22	56.4	0	0	
	合 計	88	48	54.5	3	1	33.3
共生システム 理工学研究科 (博後)	1	3	0	0.0	0	0	
	2	5	1	20.0	0	0	
	3	11	2	18.2	1	1	100.0
	合 計	19	3	15.8	1	1	100.0
大 学 院 合 計		267	122	45.7(48.1)	5	3	60.0(80.0)

() 内は平成28年度の受診率

身長体重測定

学 類	学年	対 象 数	受 診 数	受 診 率
人間発達文化学類	1	282	277	98.2
	2	288	234	81.3
	3	304	266	87.5
	4	354	288	81.4
	合 計	1,228	1,065	86.7
行政政策学類	1	217	205	94.5
	2	218	147	67.4
	3	236	116	49.2
	4	254	163	64.2
	合 計	925	631	68.2
経済経営学類	1	238	229	96.2
	2	228	130	57.0
	3	237	122	51.5
	4	271	174	64.2
	合 計	974	655	67.2
現代教養コース	1	64	43	67.2
	2	64	25	39.1
	3	60	24	40.0
	4	87	40	46.0
	合 計	275	132	48.0
共生システム理工学類	1	192	183	95.3
	2	193	117	60.6
	3	194	121	62.4
	4	238	155	65.1
	合 計	817	576	70.5
学 類 総 合 計		4,219	3,059	72.5(72.0)
人間発達文化研究科	1	51	36	70.6
	2	43	30	69.8
	合 計	94	66	70.2
地域政策科学研究科	1	10	4	40.0
	2	14	2	14.3
	合 計	24	6	25.0
経済学研究科	1	14	2	14.3
	2	28	3	10.7
	合 計	42	5	11.9
共生システム理工学研究科(博前)	1	49	29	59.2
	2	39	24	61.5
	合 計	88	53	60.2
共生システム理工学研究科(博後)	1	3	0	0.0
	2	5	2	40.0
	3	11	2	18.2
	合 計	19	4	21.1
大 学 院 合 計		267	134	50.2(53.5)

() 内は平成28年度の受診率

内科診察

学 類	学年	対象数	受診数	受診率	再 検 対 象 数	再 検 受 診 数	再 受 診 率
人間発達文化学類	1	282	277	98.2	1	1	100.0
	2	20	20	100.0	0	0	0
	3	210	222	105.7	0	0	0
	4	0	3	0.0	0	0	0
	合 計	512	522	102.0	1	1	100.0
行政政策学類	1	217	205	94.5	0	0	0
	2	4	4	100.0	0	0	0
	3	0	12	0.0	0	0	0
	4	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	221	221	100.0	0	0	0
経済経営学類	1	238	229	96.2	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	3	0	10	0.0	0	0	0
	4	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	238	239	100.4	0	0	0
現代教養コース	1	64	43	67.2	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	3	0	5	0.0	0	0	0
	4	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	64	48	75.0	0	0	0
共生システム理工学類	1	192	183	95.3	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	3	14	28	200.0	0	0	0
	4	0	1	0.0	0	0	0
	合 計	206	212	102.9	0	0	0
学 類 総 合 計		1,241	1,242	100.1(97.5)	1	1	100.0(50.0)
人間発達文化研究科	1	51	36	70.6	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	51	36	70.6	0	0	0
地域政策科学研究科	1	10	4	40.0	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	10	4	40.0	0	0	0
経済学研究科	1	14	2	14.3	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	14	2	14.3	0	0	0
共生システム 理工学研究科(博前)	1	49	29	59.2	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	49	29	59.2	0	0	0
共生システム 理工学研究科(博後)	1	3	0	0.0	0	0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0
	3	0	0	0.0	0	0	0
	合 計	3	0	0.0	0	0	0
大 学 院 合 計		127	71	55.9(65.7)	0	0	0(0)

() 内は平成28年度の受診率

BMI測定

学 類	性別	対象者	受診者	低 体 重 (0.0~18.4)		普通体重 (18.5~24.9)		肥 満 (1 度) (25.0~29.9)		肥 満 (2 度) (30.0~34.9)		肥 満 (3 度) (35.0~39.9)		肥 満 (4 度) (40.0~)	
				該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)
人 文 学 人間文化学	男	502	407	31	7.6	313	76.9	52	12.8	8	2.0	2	0.5	1	0.2
	女	726	658	70	10.6	521	79.2	57	8.7	9	1.4	1	0.2	0	0.0
	計	1,228	1,065	101	9.5	834	78.3	109	10.2	17	1.6	3	0.3	1	0.1
行 政 学 行政学	男	499	325	44	13.5	227	69.8	44	13.5	8	2.5	0	0.0	2	0.6
	女	426	306	44	14.4	237	77.5	21	6.9	4	1.3	0	0.0	0	0.0
	計	925	631	88	13.9	464	73.5	65	10.3	12	1.9	0	0.0	2	0.3
経 済 学 経済学	男	639	386	46	11.9	291	75.4	43	11.1	6	1.6	0	0.0	0	0.0
	女	335	269	43	16.0	203	75.5	21	7.8	2	0.7	0	0.0	0	0.0
	計	974	655	89	13.6	494	75.4	64	9.8	8	1.2	0	0.0	0	0.0
現 代 教 育 学 現代教育学	男	157	74	4	5.4	60	81.1	6	8.1	3	4.1	1	1.4	0	0.0
	女	118	58	6	10.3	44	75.9	6	10.3	2	3.4	0	0.0	0	0.0
	計	275	132	10	7.6	104	78.8	12	9.1	5	3.8	1	0.8	0	0.0
共 同 学 部 共通学	男	667	452	46	10.2	336	74.3	59	13.1	7	1.5	4	0.9	0	0.0
	女	150	124	12	9.7	100	80.6	12	9.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	817	576	58	10.1	436	75.7	71	12.3	7	1.2	4	0.7	0	0.0
総 計		4,219	3,059	346	11.3	2,332	76.2	321	10.5	49	1.6	8	0.3	6	0.2

学 類	性別	対象者	受診者	低 体 重 (0.0~18.4)		普通体重 (18.5~24.9)		肥 満 (1度) (25.0~29.9)		肥 満 (2度) (30.0~34.9)		肥 満 (3度) (35.0~39.9)		肥 満 (4度) (40.0~)	
				該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)	該当者	該当率 (%)
人間発達 文化研究科	男	40	29	1	3.4	18	62.1	8	27.6	1	3.4	1	3.4	0	0.0
	女	54	37	1	2.7	32	86.5	2	5.4	2	5.4	0	0.0	0	0.0
	計	94	66	2	3.0	50	75.8	10	15.2	3	4.5	1	1.5	0	0.0
地域政 策学 研究科	男	17	5	2	40.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	女	7	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	24	6	2	33.3	4	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
経 済 学 研 究 科	男	39	5	2	40.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	女	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	42	5	2	40.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
共生システム 理工学研究科 (博前)	男	74	43	9	20.9	26	60.5	8	18.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	女	14	10	1	10.0	9	90.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	88	53	10	18.9	35	66.0	8	15.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
共生システム 理工学研究科 (博後)	男	15	3	0	0.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	女	4	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	19	4	1	25.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総 合 計	計	267	134	17	12.7	93	69.4	20	14.9	3	2.2	1	0.7	0	0.0

体育系学生特別健康診断実施結果 (平成29年度)

受診者

所 属	男	女	計
チ ア ダ ン ス	0	5	5
オ リ エ ン テ ー リ ン グ	2	0	2
行 政 政 策 学 類 陸 上 競 技	1	1	2
陸 上 競 技	30	20	50
福 島 学 生 源 種	11	22	33
男 子 ソ フ ト ボ ー ル	20	0	20
ラ グ ビ ー	16	0	16
男 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	16	0	16
女 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	0	9	9
柔 道	11	2	13
弓 道	16	7	23
剣 道	16	8	24
居 合 道	3	1	4
合 気 道	2	0	2
バ ト ミ ン ト ン	2	1	3
水 泳	2	1	3
卓 球	3	2	5
男 子 ラ ク ロ ス	3	0	3
女 子 ラ ク ロ ス	0	6	6
硬 式 テ ニ ス	11	3	14
ソ フ ト テ ニ ス	25	5	30
男 子 ハ ン ド ボ ー ル	11	0	11
女 子 ハ ン ド ボ ー ル	0	7	7
サ ッ カ ー	28	0	28
硬 式 野 球	20	0	20
男 子 バ レ ー ボ ー ル	6	0	6
女 子 バ レ ー ボ ー ル	0	9	9
空 手	2	2	4
夜 間 主 剣 道	1	0	1
馬 術	1	0	1
山 岳	1	0	1
経 済 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	1	0	1
競 技 ダ ン ス	0	1	1
準 硬 式 野 球	1	0	1
合 計	262	112	374

- ・検査項目：心電図 血圧測定
- ・対 象：体育系公認サークルに所属する学生希望者
(参考：平成28年度 男子293名 女子124名 合計417名)

心電図検査結果

判 定 区 分	所 見 名 (人数)			
	上室性期外収縮疑	度房室ブロック疑	W P W 症候群疑	心室性期外収縮疑
要 再 検 査	0	1	2	0
12 ヶ 月 後 再 検 査	2	0	0	1
合 計	2	1	2	1

- ・要再検査 3 名は医師と面接し病院受診勧める。
 - ・12ヶ月後再検査 3 名の内 2 名は医師と面接し経過観察とする。
- (参考：平成28年度 要再検査 5 名 12ヶ月後再検査 6 名)

血圧測定結果

判 定 区 分	人 数	
要 指 導	13	要指導：収縮期血圧130～139mmHg / 拡張期血圧85～89mmHg
要 精 密 検 査	23	要精密検査：収縮期血圧140mmHg以上 / 拡張期血圧90mmHg以上
合 計	36	

- ・呼び出し、定期的な血圧測定や生活指導を行った。
- (参考：平成28年度 要指導 7 名 要精密検査 2 名)

月別利用状況一覽表 (平成29年度)

主訴 大分類	主訴小分類	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		總合計			
		學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員	學生	職員
内科	検査	63	0	101	1	141	0	25	0	3	0	3	0	0	0	8	1	8	1	10	0	4	0	4	0	1	0	371	3
	頭痛	5	0	8	2	5	2	6	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	1	7	1	6	0	2	1	0	0	46	8
	口内・咽頭痛	12	2	22	0	13	0	12	0	4	1	1	1	1	1	19	1	24	0	10	1	11	0	5	0	0	2	133	8
	腹痛	2	0	4	0	5	0	2	0	1	0	1	0	1	0	6	0	4	2	1	0	2	0	0	0	0	2	28	4
	発熱	4	0	3	0	4	2	2	0	1	0	3	0	3	0	1	0	3	0	4	0	8	0	9	1	2	0	44	3
	鼻汁	3	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	4	0	1	0	2	0	1	0	3	0	20	1
	咳・嘔声・痰	5	0	8	0	8	0	9	0	0	1	0	0	0	3	0	14	2	5	1	8	2	0	1	0	0	0	60	7
	胸痛(呼吸困難含む)	2	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	1
	下痢・便秘	0	0	1	0	2	0	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	14	2
	嘔気・嘔吐・食欲不振	6	0	3	0	5	0	6	0	4	1	0	0	0	2	1	1	1	1	2	1	1	0	1	0	0	0	31	4
	その他(内科的)	2	0	5	1	5	1	6	0	8	0	8	0	2	1	1	5	1	3	1	5	1	1	1	1	1	2	42	11
	合計	104	2	159	4	195	5	70	2	25	4	25	4	10	4	45	5	68	8	43	5	52	3	23	4	7	6	801(851)	52(42)
	外科・整形外科	頸・肩痛	1	0	3	1	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	11	2
背・腰痛		2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	10	2	
四肢痛		6	0	2	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	1	22	1	
捻挫		1	0	0	1	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	7	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	16	1
打撲		1	0	2	0	4	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	2	1	4	1	3	0	0	0	0	0	1	20	4
外傷		3	0	9	1	9	0	8	0	1	1	1	2	0	3	1	7	0	3	0	0	1	2	0	1	0	48	4	
骨折		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(外科・整形外科的)		2	0	2	0	6	0	0	1	0	1	0	1	1	0	4	1	2	0	4	1	0	3	0	1	0	0	21	8
合計		16	0	18	3	27	1	17	1	4	3	4	3	4	0	20	3	14	1	14	2	7	4	3	1	4	3	148(190)	22(15)
耳鼻科		耳痛	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	9	0
	口内・咽頭痛	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	
	聴力異常	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
眼科	耳鳴・眩暈	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	
	鼻出血	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
	その他(耳鼻咽喉科的)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	5	0	
	合計	3	0	3	1	3	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	3	0	2	0	1	0	1	0	24(38)	2(1)	
眼科	眼痛	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
	打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麦粒腫・霜粒腫	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	視力異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	結膜充血・眼内異物	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
流涙・眼脂・羞明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

主訴 大分類	主訴小分類	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		総合計				
		学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	
眼科	眼瞼掻痒	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(眼科的)	0	0	6	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	1	0	8	0	3	1	2	0	3	1	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮膚科	やけど	1	0	3	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	皮膚腫瘍・皮膚疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	化膿(おでき含む)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科	虫さされ・蕁麻疹	10	1	4	0	9	0	7	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	
	皮膚炎(湿疹・かぶれ)	0	0	3	0	5	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(皮膚科的)	0	0	2	0	2	0	3	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	
	合計	11	1	12	0	24	0	13	0	13	0	1	2	0	6	1	3	0	3	0	6	0	3	0	0	0	1	83(84)	4(4)	
歯科	歯痛	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(歯科的)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科・その他(婦人科・泌尿科的)	生理不順	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生理痛	0	0	6	1	1	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	2	0	3	0	0	0	1	2	0	22	2	
	排尿異常	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康相談	その他(婦人科・泌尿科的)	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	9	3	
	合計	1	1	10	1	2	0	4	0	3	0	0	0	0	2	0	4	0	2	0	3	0	2	1	2	1	2	3	35(36)	6(7)
	健康相談(内科)	8	0	9	1	12	0	7	0	7	1	1	1	1	5	3	14	2	12	0	6	0	4	1	5	0	90	9		
健康相談	健康相談(外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
	健康相談(その他)	15	2	2	1	8	2	6	4	3	1	4	3	4	1	10	5	0	0	0	1	0	1	2	0	4	54	25		
	合計	23	2	11	2	20	2	13	4	11	2	5	4	9	4	25	8	12	0	7	0	5	5	5	4	146(283)	37(28)			
カウンセリング	不安状態	2	0	2	0	4	0	8	0	2	0	3	0	5	0	6	1	3	0	6	0	4	0	4	0	10	0	55	1	
	心気状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	強迫状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	躁状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うつ状態	3	0	4	0	6	0	3	0	4	0	4	0	8	0	12	0	7	0	11	1	8	1	3	1	3	1	73	3	
	幻覚妄想状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	神経衰弱状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヒステリー状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	保留	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不眠	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンサルテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(カウンセリング的)	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	合計	8	0	8	0	12	0	12	0	12	0	6	0	10	0	15	0	24	2	19	0	19	2	13	1	14	1	160(194)	6	
総合計	167	6	230	11	286	10	135	7	53	11	32	9	102	13	142	19	96	7	97	9	97	12	50	18	33	18	1,423(1,701)	132(100)		

()内は平成28年度の来所人数

【インフルエンザ検査実施状況】 【緊急対応について】

	実施数	陽性数
学 生	48	16
職 員	1	0
計	49	16

	救急車搬送	タクシーで受診	休養で回復	その他	計
学 生	5	7	9	2	23
職 員	2	0	0	0	2
計	7	7	9	2	25

参考：平成28年度

参考：平成28年度

	実施数	陽性数
学 生	24	11
職 員	0	0
計	24	11

	救急車搬送	タクシーで受診	休養で回復	その他	計
学 生	7	9	7	7	30
職 員	0	0	0	1	1
計	7	9	7	8	31

病院等医療機関紹介状況 (平成29年度)

月 別	科別 区分	内 科	外 科	整 形 外 科	皮 膚 科	耳 鼻 咽 喉 科	循 環 器 科	呼 吸 器 科	内 分 泌 科	眼 科	神 経 内 科	脳 外 科	泌 尿 器 科	婦 人 科	精 神 科	そ の 他	計	
																		学 生
4月	学 生			1					1									2
	教・職員												1					1
5月	学 生	7	1	1	3	2		2			1			1				18
	教・職員										1						1	2
6月	学 生	9	1	2	1	1		1			1		1		1			18
	教・職員																	0
7月	学 生	3		2	1							1			3			10
	教・職員																	0
8月	学 生	1				1												2
	教・職員				2							1						3
9月	学 生			1				1					1		1			4
	教・職員	1																1
10月	学 生	1			6		1						1		1			10
	教・職員			1	2													3
11月	学 生	1		2		4		1			1				2			11
	教・職員	1																1
12月	学 生		1		2	1						1			1			6
	教・職員			1														1
1月	学 生	1													2			3
	教・職員																	0
2月	学 生					1									1			2
	教・職員	1		1						1					1	1		5
3月	学 生			2		2									1			5
	教・職員																	0
計	学 生	23	3	11	13	12	1	5	1	0	3	2	3	1	13	0		91
	教・職員	3	0	3	4	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	2		17
	合 計	26	3	14	17	12	1	5	1	1	4	3	4	1	14	2		108

紹介状返答状況 (平成29年度)

	紹介状発行数 (枚)	返 信 数	返 答 率 (%)
学 生	89	57	64.0
教・職員	17	9	52.9
合 計	106	66	62.3

救急箱利用状況 (平成29年度)

月	使用目的	使用数	使用数合計
4	現代教養コース 新入生合宿ガイダンス	2	10
	行政政策学類 新入生合宿ガイダンス	2	
	福大祭スポーツフェスティバル (福大祭実行委員)	4	
	マラソン大会	2	
5	むらの大学 田植え体験	2	11
	スポーツフェスティバル ケガ	1	
	食農教育プログラム 田植え体験	1	
	むらの大学 南相馬フィールドワーク	1	
	みらいバス かつらお村民運動会2017	1	
	自然体験学校	2	
	経済経営学類 新入生学外研修	2	
	みらいバス 農業再生の歩みを知るin浪江町	1	
6	みんなで植えよう～かわうちふれあい田んぼアート～2017	1	7
	浪江町に行こう！バスツアー	1	
	ワンディ・インターンシップ・バスツアー	2	
	東北地区大学体育大会	1	
	行政政策学類 バレーボール大会	1	
	職員採用試験	1	
	ワンディ・インターンシップ・バスツアー	1	
7	川内村 天山祭り (学外実習)	1	5
	川内村 いわなの郷再開発プロジェクト夏祭り	1	
	ひらめき ときめきサイエンス ようこそ大学の研究室へ	1	
	相馬野馬追	1	
	自然体験学校	1	
8	ワンディ・インターンシップ・バスツアー	1	8
	藍染め体験	2	
	2017 なみえの夏祭り	1	
	東北地区大学体育大会	1	
	ひらめき ときめきサイエンス 科学教室	1	
	南相馬追悼復興花火大会	1	
	ワンディ・インターンシップ・バスツアー	2	
9	大学の世界展開力強化事業	1	11
	むらの大学 川内村フィールドワーク	2	
	浪江町 畑仕事ボランティア	1	
	発掘調査	1	
	CERAサイエンス屋台村	1	
	むらの大学 南相馬 フィールドワーク	2	
	FD宿泊研修	1	
	むらの大学 稲刈り	1	
10	みらいバス ふたばスポーツフェスティバル2017	1	17
	南相馬 菜の花の種まき	1	
	理工学類 AO・編入学入試	1	
	スタ ふくプロジェクト	3	
	むらの大学 エゴマの収穫	1	
	福大祭 スポーツフェスティバル	9	
	行政政策学類 バレーボール大会	1	
11	推薦入学試験	3	8
	むらの大学 フィールドワーク	3	
	留学生研修旅行	1	
	むらの大学 フィールドワーク	1	
12	むらの大学 フィールドワーク	1	1
1	むらの大学 現地報告会及び天山文庫大掃除大作戦	1	1
2	Fukushima Ambassadors Program	1	3
	バスケットボール指導者講習会	1	
	むらの大学 天山文庫パネル	1	
3	わくわくJr.カレッジ バスケットボール	1	1
合計			83

月別健康診断証明書発行状況 (平成29年度)

発行枚数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
保健管理センター	15	2	8	3	2	1	2	0	1	0	0	0	34
自動発行機	225	851	648	221	166	149	155	76	71	36	84	193	2,875
合計	240	853	656	224	168	150	157	76	72	36	84	193	2,909

平成29年度ストレスチェック結果報告

保健管理センター 産業医

1. ストレスチェックの目的

メンタルヘルス不調の未然防止を強化するため、本人にその結果を通知して自らのストレスの状況について気づきをうながし、個々のストレスを低減させる。

検査結果を手段ごとに集計・分析し、職場におけるストレスの要因そのものを低減するための方法を模索する。

ストレスの高い者を早期に発見し、医師による面接指導につなげることで、個々のメンタルヘルスの不調を未然に防止する。

2. 対象者

全職員642名

(大学教員 329名 事務職員 221名 (正規119名 非正規102名)、附属学校教員92名)

3. 実施時期と方法

* 事務職員

事務協議会議で人事課から説明し、各事務職員へは各課・室長等を通じて、調査の実施概要(目的や調査票の活用方法等)について詳細な説明を行った上で、9月の定期健康診断時に受診票と合わせて配布した。丁寧な説明を行った上で、原則全員提出してもらうよう要請した。

* 大学教員及び附属教員

各学類長及び各附属学校長に文書で協力依頼を行い、9月の定期健康診断時に受診票と合わせて配布した。

4. 職員へのフィードバック

原則、9月下旬にすべての項目に記名し提出した者に対し、「通知文」「ストレスプロフィール」「リーダーチャート」を返却し、セルフケアのための参考資料とした。

5. 提出率68.8% (昨年63.4%)

(全職員642名中提出者442名 以下442/642) H30.2.1現在

・大学教員 51.7% (170/329) (昨年49.1%)

・事務職員 86.4% (191/221) (昨年79.5%)

(正規89.1% (106/119) 非正規83.3% (85/102))

・附属学校教員 88.0% (81/92) (昨年77.2%)

6. 結 果

- 1) 高ストレス者の判定方法に基づいて判定した高ストレス者は提出者442名中50名で、提出者中11.3% (以下50/426) であった。(前年：8.6% (35/409))
- 2) 内訳：大学教員10.6% (18/170)、事務職員11.0% (21/191) (正規12.3% (13/106) 非正規9.4% (8/85))、附属学校教員13.8% (11/80)
- 3) 職場ストレス判定図の考え方・読み方に基づいて10名以上の提出者の17職場で検討した。健康リスク総合評価が120以上の職場はなく、最高で119、100を超えた部署は8部署であった(去年は3部署)。量 コントロールでは最高は123、100を超えた職場は5部署(去年は4)、職場の支援では最高は124、100を超えた職場は8職場であった(去年は4)。10名未満の職場は個人の特定を避けるため検討は行わなかった。
- 4) ストレスチェック制度に基づく面接指導者は0名であったが、2名は個人的に保健管理センターを訪れ、医師による面談を受けた。

	高 ス ト レ ス 者 率 (%)	
	H 29	H 28
教 員	10.6 (18/170)	9.8 (16/164)
事 務	11.0 (21/191)	5.2 (9/174)
正 規	12.3 (13/106)	6.1 (6/ 98)
非 正 規	9.4 (8/ 85)	4 (3/ 76)
附 属 学 校 教 員	13.8 (11/ 80)	14.1 (10/ 71)
全 体	11.3 (50/426)	8.6 (35/409)

業績・活動報告

平成30年<2018年>業績

学会司会等

小室安宏、第56回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会一般演題司会、仙台、2018

小室安宏、第77回日本公衆衛生学会総会 一般演題司会、郡山、2018

和文論文

黒澤恵、小室安宏、角田夕子、片山規央 他機関との連携による若者向け自殺予防の取り組み
CAMPUS HEALTH、55 (2)、2185 - 190、2018

小室安宏、インフルエンザウイルス抗原検出キットにおける機器判定の優越性について
Study on the advantage of determining apparatus in the influenza virus antigen
detection kit 福島大学研究年報、第14号、2018年8月

学会発表

片山規央、角田夕子、黒澤恵、小室安宏「福島大学におけるメンタル相談の現状と課題」第56回
全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会、仙台、2018

平成30年度 自殺予防対策活動報告

2016年4月、自殺対策基本法の一部改正により人材の確保・心の健康の保持に係わる教育の啓発では、行政だけでなく、医療機関や教育機関との連携・協力も明記され、多方面の連携による自殺予防の取り組みが必要とされている。

福島大学保健管理センターでは、平成27年より福島県精神保健福祉センターと連携し、若者の自殺予防対策活動を行っている。

<自殺予防対策特別講演会>

日 時：平成30年7月13日（金）10時20分～11時50分

会 場：共通講義棟 L2教室

内 容：「自殺予防について考えてみよう」

講師 福島県精神保健福祉センター 所長 畑 哲信 先生

「悩みを持つ人に声をかけ、話を聴き、専門機関につなぐ」

講師 臨床心理士 本多 忠勝 氏

- ・自殺の現状や自殺と関連するリスク
- ・相談する・頼る等の援助希求能力についての説明
- ・自殺予防の必要性
- ・悩みを持つ人へ声をかけ話を聞く、専門機関へのつなぎ方
- ・悩んでいる友人への声掛け、適切な傾聴方法のモデリング
- ・相談機関の紹介

参加者：160名

平成30年度 保健管理センター主催特別講演会

<共に学ぶセクシャリティ健康講座～自分とパートナーを大切にできる関係づくり>

昨年に引き続き、講演会を開催致しました。

日 時：平成30年10月31日（水） 10：30～11：40

会 場：共通講義棟 L3教室

講 師：野口 まゆみ先生（学校医 西口クリニック 婦人科）

内 容：知っておきたい自分の性・相手の性

月経前後のトラブル、性感染症と妊娠

避妊について

性に関する不安や悩み

今時の若者たちの「性」

デートDVについて

参加者：324名

上記の2つの講演会は保健管理センター教員の授業の1コマを使用し、レポートの提出を求めたこともあり、多くの学生の参加が得られた。

保 健 管 理 体 制

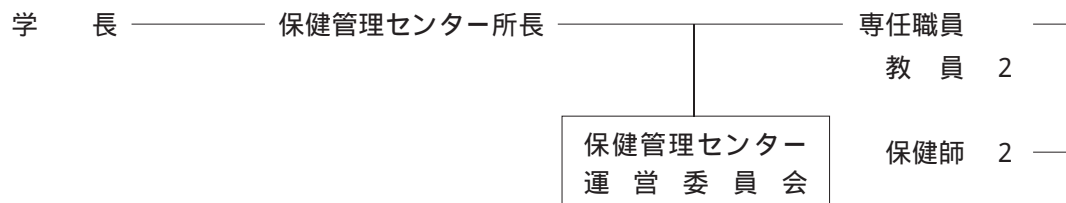
保健管理センター運営委員会委員名簿

(平成31年1月現在)

	部 局 等	氏 名
委 員 長	理事・副学長	三 浦 浩 喜
委 員	保健管理センター所長	小 室 安 宏
	保健管理センター准教授	片 山 規 央
	人間発達文化学類教授	谷 雅 泰
	人間発達文化学類教授	半 澤 康
	行政政策学類准教授	新 藤 雄 介
	行政政策学類教授	浅 野 か お る
	経済経営学類教授	末 吉 健 治
	経済経営学類准教授	伊 藤 俊 介
	共生システム理工学類准教授	生 田 博 将
	共生システム理工学類教授	増 田 正
	学生課長	齋 藤 栄 一
	人事課長	阿 久 津 秀 美

福島大学保健管理センター機構図

(平成31年1月現在)



保健管理センター職員名簿

所 長 (併)・教授	小 室 安 宏 (内科・外科)
准 教 授	片 山 規 央 (精 神 科)
保 健 師	角 田 夕 子
保 健 師	黒 澤 恵

保健管理センター非常勤学校医名簿

大原総合病院附属大原健康クリニック	所長 植 木 洋 司 (内 科)
西口クリニック 婦人科	院長 野 口 まゆみ (婦 人 科)

保健管理センターに関する事務職員名簿

学 生 課 長	齋 藤 栄 一
学 生 課 副 課 長	伊 藤 敬 義
学 生 企 画 担 当	矢 内 祐 紀
	渡 辺 昌 樹

福島大学保健管理センター規則

制定 昭和56年4月1日
改正 平成14年3月19日
改正 平成16年4月1日
改正 平成17年4月1日
改正 平成19年3月20日
改正 平成21年3月3日
改正 平成22年3月16日
改正 平成24年3月6日

(趣 旨)

第1条 この規則は、福島大学学則（昭和24年6月1日制定）第4条の2第1項の規定に基づき、福島大学保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(業 務)

第2条 センターは、福島大学（以下「本学」という。）の学生及び職員の健康の保持増進を図るため、次の各号に掲げる保健管理に関する専門的業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断並びに救急処置
- 三 健康診断に基づく事後措置等必要な指導
- 四 精神的及び身体的な健康相談
- 五 環境衛生及び伝染病の予防についての指導・援助
- 六 保健管理の充実向上のための調査研究
- 七 その他健康の保持増進について必要な業務

(職 員)

第3条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 所 長
- 二 専任教員
- 三 学校医
- 四 看護師
- 五 その他必要な職員

2 前項に定めるものの他、必要に応じて副所長を置くことができる。

(所 長)

第4条 所長は、センターの業務を掌理する。

2 所長の選考については、別に定める。

(副 所 長)

第 5 条 副所長は、所長を補佐する。

2 副所長は、センターの専任教員のうちから、第 8 条に規定する委員会の議を経て所長が指名する。

3 副所長の任期は 2 年とする。

(専任教員)

第 6 条 専任教員は、保健管理に関する専門的業務を行う。

2 専任教員の選考については、別に定める。

(学 校 医)

第 7 条 学校医は、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第22条に基づく業務を行う。

(運営委員会)

第 8 条 センターの運営に関する重要事項及びセンターの教員の人事に関する事項を審議するため、福島大学保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会に関する必要な事項は、別に定める。

(事 務)

第 9 条 センターに関する事務は、学生課において処理する。

(規則の改正)

第10条 この規則を改正するときは、運営委員会の議を経なければならない。

附 則

1 この規程は、昭和56年 4 月 1 日から施行する。

2 第 2 条各号に規定する業務のうち職員に係る事務については、第 8 条の規定にかかわらず、福島大学健康安全管理規程（昭和50年 5 月30日制定）の定めるところによる。

附 則

この規程は、平成14年 3 月19日から施行し、平成14年 3 月 1 日から適用する。

附 則

この規程は、平成14年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行し、平成24年4月1日より任期が開始する所長の選考時から適用する。

福島大学保健管理センター運営委員会規程

制定 昭和56年4月1日
改正 平成13年3月26日
改正 平成14年3月19日
改正 平成14年3月27日
改正 平成16年4月1日
改正 平成16年9月21日
改正 平成17年4月1日
改正 平成19年3月30日
改正 平成20年3月31日
改正 平成22年4月20日
改正 平成24年3月27日
改正 平成26年3月31日

(趣 旨)

第1条 この規程は、福島大学保健管理センター規則（昭和56年4月1日制定。以下「規則」という。）

第8条第2項の規定に基づき、福島大学保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 学生の保健管理の基本方針に関すること。
- 二 規則第2条各号に定める業務の実施に関すること。
- 三 保健管理センター（以下「センター」という。）の施設及び設備の整備に関すること。
- 四 センターの教員の人事に関すること。
- 五 その他センターの運営に関する重要事項。

(組 織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 副学長のうち学長が指名した者（以下「副学長」という。）
- 二 センター所長
- 三 専任教員
- 四 各学類の教員 各2人 計8人
- 五 学生課長
- 六 人事課長

2 前項第4号の委員は、当該学類において選出し、学長が任命する。

(委員の任期)

第4条 前条第1項第4号の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、副学長をもって充てる。

2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名した委員がその職務を代行する。

(会議の招集及び議長)

第6条 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

2 委員長は、委員の半数以上が会議の開催を要求した場合は、速やかに会議を招集しなければならない。

(定足数及び議決)

第7条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会することができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 第3条第1項第5号及び第6号の委員は、第2条第4号に規定する議事には加わらないものとする。

4 第2条第4号に規定する議事は、第1項及び第2項の規定にかかわらず、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席した委員の3分の2以上をもって決する。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、学生課において処理する。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、委員会において定める。

附 則

この規程は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 この規程の施行日後、最初に選出される第3条第1項第3号に規定する委員のうち、各学類が指定する1人の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず平成18年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月20日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日より施行する。
- 2 この規程による改正後の第2条の規定は、平成24年4月1日より任期が開始する所長の選考時から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日より施行する。
- 2 この規程による改正後の第3条の規定は、平成26年4月1日より任期が開始する所長の選考時から適用する。

福島大学保健管理センターの所長及び 教員の選考に関する規則

制定 昭和56年4月1日
改正 平成14年3月27日
改正 平成16年4月1日
改正 平成17年4月1日
改正 平成24年3月6日
改正 平成26年3月6日
改正 平成27年2月16日

(趣 旨)

第1条 この規則は、福島大学保健管理センター規則（昭和56年4月1日制定）第4条第2項及び第6条第2項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の所長及び教員の選考に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所長の選考)

第2条 所長は、センターの専任教員のうちから、学長が選考する。

(選考の時期)

第3条 所長の選考は、次の各号の一に該当する場合に行う。

- 一 所長の任期が満了するとき。
- 二 所長の辞任を承認したとき。
- 三 所長が欠員となったとき。

2 前項第1号に該当する場合の選考は、任期満了の30日前までに、同項第2号又は第3号に該当する場合の選考は、速やかに行うものとする。

(任 期)

第4条 所長の任期は2年とする。ただし、辞任したとき、又は欠員となったときの後任者の任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

2 所長は、再任することができる。

(教員の選考)

第5条 教員は、福島大学保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の議を経て、学長が選考する。

2 教員の候補者は、保健管理センター教員審査委員会（以下「審査委員会」という。）において選定する。

(審査委員会)

第6条 審査委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 所 長
- 二 専任教員

三 各学類の教員 各1人 計4人

- 2 審査委員会に委員長を置き、所長をもって充てる。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名した委員がその職務を代行する。
- 4 第1項第3号に掲げる委員は、学長が提議したとき、運営委員会規程第3条第1項第4号に規定する委員の中から各学類において選出する。
- 5 審査委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は、出席した委員の過半数をもって決する。

附 則

この規程は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日後、最初に選出される所長の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず平成20年3月31日までとする。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行し、平成24年4月1日より任期が開始する所長の選考時から適用する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行し、平成26年4月1日から任期が開始する所長の選考時から適用する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

沿 革

昭和56年 4月	福島大学に保健管理センター設置 福島大学西村嘉太郎学生部長が保健管理センター所長事務取扱 福島県立三春病院長より尾形学教授就任 福島県立医科大学より石下恭子講師就任 福島大学学生部厚生課から安達文子看護師配置換
昭和56年 8月	保健管理センター初代所長に尾形学教授就任
昭和56年11月	田村喜恵子看護師採用
昭和57年 3月	保健管理センター専用建物竣工
昭和58年 7月	第21回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会開催
昭和58年 8月	石下恭子講師保原保健所長へ転出
昭和58年12月	福島県立医科大学より渡辺厚講師就任
昭和60年 4月	田村喜恵子看護師退職につき、酒井コウ看護師採用
昭和60年 8月	尾形学所長任期満了につき、鈴木善弘教育学部教授所長就任
昭和61年 4月	安達文子看護師定年退職につき、斑目敦子看護師採用
昭和62年 4月	渡辺厚助教授昇任
昭和62年 5月	保健管理センター健康管理システム導入
昭和62年 8月	鈴木善弘所長任期満了につき、宮島宏志郎経済学部教授所長就任
平成元年 8月	宮島宏志郎所長任期満了につき、尾形学保健管理センター教授所長就任
平成 2年 7月	第28回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会開催
平成 3年 8月	尾形学所長任期満了につき、村上直治教育学部教授所長就任
平成 5年 8月	村上直治所長任期満了につき、尾形学保健管理センター教授所長就任
平成 7年 8月	尾形学所長任期満了につき、菅野雄行政社会学部教授所長就任
平成 9年 7月	第35回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会開催
平成 9年 8月	菅野雄所長任期満了につき、尾形学保健管理センター教授所長就任
平成11年 8月	尾形学所長任期満了につき、土井幸一郎経済学部教授所長就任
平成12年 3月	尾形学保健管理センター教授退官
平成12年 4月	渡辺厚教授昇任
平成12年 4月	アメリカヴァージニア州立大学より渡辺英綱助教授就任
平成13年 8月	土井幸一郎所長任期満了につき、渡辺厚保健管理センター教授所長就任
平成15年 8月	渡辺厚所長任期満了につき、昼田源四郎教育学部教授所長就任
平成15年10月	平成15年度北海道・東北地区メンタルヘルス研究協議会開催
平成16年 7月	第42回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会開催
平成17年 8月	昼田源四郎所長任期満了につき、渡辺厚保健管理センター教授所長就任

平成21年 3月	酒井コウ看護師退職
平成21年 5月	渡辺千秋看護師採用
平成21年 6月	渡辺英綱准教授副所長就任
平成23年11月	渡辺英綱副所長退職
平成23年12月	川上敦子看護師、渡辺千秋看護師退職
平成24年 1月	角田夕子保健師、鈴木恵保健師採用
平成24年 4月	渡辺厚所長任期満了につき、工藤孝幾理事・副学長所長就任
平成24年 4月	宇野友康准教授就任
平成26年 4月	工藤孝幾理事・副学長所長任期満了につき、渡辺厚保健管理センター教授 所長就任
平成27年 1月	黒澤恵保健師産休により齋藤広美看護師採用
平成27年10月	宇野友康准教授退職
平成28年 2月	齋藤広美看護師退職、小室安宏教授採用
平成28年 3月	黒澤恵保健師産休より復職
平成29年 3月	渡辺厚保健管理センター教授所長退職
平成29年 4月	小室安宏保健管理センター教授所長就任、片山規央准教授採用

あ と が き

福島に来て3年が過ぎました。私事ですが、年末には数年ぶりに風邪に罹ってしまいました。若いころは解熱鎮痛剤を飲めばその日の夜には発汗し次の日には元気に仕事でしたが、寄る年波には勝てず、年末年始の休みは本物の寝正月となってしまいました。医者の不養生とはよくいったものです。

さて平成29年度の定期健康診断ですが、例年どおり多くの学生に受診していただきました。中でも尿検査の再検受診者率が60.5%とH28年度の49.3%に比べて増加しておりますが、これは保健師の角田さん、黒澤さんの熱心な再受診への促しが効果を上げたものと考えております。センターの月別利用状況ですが、H29年度は1,423名と、H28年度の1,701名に比較して、内科系外科系カウンセリングとすべてにおいて減少傾向にありました。しかし、インフルエンザ罹患者数や緊急対応を要する学生などはあまり変化がなく、医療機関へ紹介状を書いた学生は、H29年度は106名と、H28年度の82名に比べて増加していることから、比較的重症と思われる学生が増加している傾向にあります。当センターを利用する学生の状態に合わせた確に対応していく必要があると考えております。

次にセンターの業績です。2018年版のCAMPUS HEALTHに、他機関との連携による若者向け自殺予防の取り組みが掲載されました。これは当センターの保健師である黒澤恵さんによる論文です。初めての投稿でしたが、査読者との粘り強いやり取りにて見事掲載の栄冠を勝ち取りました。今後もさらなる健闘を期待いたします。

2019年7月には全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会を福島で開催させていただきます。講師の先生方にはより現場の役に立つお話をしていただけると期待しているところであります。当センターのスタッフはもちろん、学生課の方々をはじめ多くの皆様のお力を拝借して乗り切りたいと思っております。

今後も日常の業務とともに教育や研究活動も充実させ、よりよいセンターにしていきたいと思いますので、皆様のご指導ご鞭撻をいただきたくよろしくおねがいいたします。

福島大学保健管理センター

小室 安 宏

福島大学保健管理センター紀要第33号

(平成29年度)

平成31年3月発行

編集発行：福島大学保健管理センター

〒960-1296 福島市金谷川1番地

電話 (024) 548-8068

FAX (024) 549-5015

印刷所：有限会社 吾妻印刷

〒960-8074 福島市西中央四丁目25

電話 (024) 534-0342